

ゆうちゃんへ

ゆうちゃん、あなたをお迎えしてから4年4ヶ月の月日が流れました。副腎腫瘍の治療を始めてからは、いつかはお別れの日が訪れるのは頭の中ではわかってはいたのですが、治療が順調だったので、まさかこんなにも早く訪れるなんて思っていなかった。

ゆうちゃんとお会った日はとっても晴れた日で、向かいのペットショップに寄ったら、ベビちゃんの中にマーシャルの白っぽいシナモンで優しいお顔の子を見て一目惚れしてしまいました。本当はマーシャルの子ではなかったけど、そんなことはおとうちゃんにはどうでもよかったよ。ゆうちゃんの優しいお顔がとっても気に入ったの。クーたんのみゆうには悪いけど、おとうちゃんが初めて一目惚れしてお迎えした子がゆうちゃんなんだよ。

その後、次々とキャラの濃い子をお迎えしてしまって、優しくおとなしいゆうちゃんだったから、シナモンのメンバーの中では目立たない存在になっちゃったけど、ゆうちゃんはお写真を撮るときにとっても優しく柔らかい表情でポーズを決めてくれるので、お写真を撮るのはメンバーの中で一番撮り甲斐がありました。

うちは家族が多かったのと、最近ではフェレットの感染症が流行っていたので、あまりいろんなところに連れて行けなかったけど、シナモンのみんななどにぎやかに暮らせたね。

去年の夏、たまいたちが閉店するのでご挨拶に行った時にお腹のハゲが見つかり、それからハゲとの戦いだったね。おとうちゃんもいろいろ頑張ったけど、なかなかハゲが治らなくて困っちゃった。結局、副腎腫瘍だったけど、リュープリンで治療を始めてようやく毛が生えてきてよかったねって思っていたのに、激痩せに早く気づいてあげられず、心臓の病気を発見するのが遅れてしまい、本当にごめんさい。もう少し早くレントゲン検査をして、心臓の病気を見つけることが出来たら、ゆうちゃんともっと長く一緒に暮らせたかもしれないと思うと、それが心残りです。ゆうちゃんは、おとうちゃんとの約束を果たそうとマフマフ復活に向かってとっても頑張っていたのにね。

おとからゆうちゃんに輸血するのを決めた時、おとうちゃんはもう覚悟していたけど、輸血後にゆうちゃんの容態が良くならなくて、翌日先生に「もう回復する見込みはありません」と言われたときは本当にショックだった。でもね、退院してから少しだけ元気になって、3日も一緒に過ごすことができたし、ゆうちゃんは具合が悪いのにいっぱいおとうちゃんに甘えてくれて、一緒に寝てくれて、おとうちゃんは本当にうれしかったよ。

最後の日は、おとうちゃんが仕事している間にゆうちゃんとお別れになるのが嫌だったから、動物病院に再入院させたけど、おとうちゃんとお別れするために動物病院で待っていてくれて、本当にありがとう。最後に「おとうちゃん、ありがとう」って言っていたの、おとうちゃんにはちゃんと聞こえたよ。

ゆうちゃん、これから永遠の旅になるけど、どうかたけと一緒に楽しく旅をしてください。また、シナモンのメンバーを見守っていてくださいね。今まで一緒に暮らしてくれて、本当にありがとう。

2006年7月22日 シナモンズのおとうちゃんより